

第8章. 検討会（関係課調整会議）

8－1. 八重瀬町地域公共交通導入基礎調査における関係課調整会議

（1）関係課調整会議

①開催日と主なテーマ

開催	主なテーマ	開催日
第1回	調査の目的や実施方法について	令和2年10月13日
第2回	調査結果の報告	令和3年3月11日

②関係課調整会議の主な内容

第1回の主な内容

- ・町民アンケートを世帯主に送付し構成する各個人が所定のA票からE票にご記入頂く場合の分類（A 学生、B 就業者、C 生活者、D 65歳以上）と世帯代表としてご記入頂くE票について、アンケートの内容および構成、初見によるアンケートの趣旨の認識度など議論し、設問内容や選択肢などにおいても議論を講じた。

第2回の主な内容

- ・町民アンケートおよび高校生アンケートの集計結果から得られた内容と地域の特性や交通特性などともあわせて、町民の公共交通に対する意識や動向を確認した。
また、町民アンケートおよび高校生アンケートから得られた、今後本町に求められる新たな公共交通の集計や、その特性などから議論を講じた。

(2) 報告会

①開催日と主なテーマ

開催	要旨	主なテーマ	開催日
第1回	中間報告	アンケート調査の結果 本事業の今後の予定 意見交換 など	令和3年1月25日

②報告会の実施方法

別紙の「町民アンケート結果要約版」および「高校生アンケート結果要約版」を活用して説明

③主なご意見

- ・町民アンケートの回収率 59.1%、高校生アンケートの回収率 92.3%の集計結果およびご意見について多くの声を反映した内容であることの理解を得られた。
- ・高校生のバス利用者は比較的多いが、「就業者、生活者、65歳以上（以下：成人と略）」は、「路線バスの利用は著しく低く」、「自家用車の保有率も高い」。地域性として自家用車は必須の地域であることは、生活者の一人としてよく理解できる。
- ・通勤や通学者が「町外から」「町外へ」が7割を占めるなど、多くのものが町外に依存し、このことから自家用車の利用率の高さがうかがえる。
- ・町は人口増加傾向にあるが、今後一層高齢化による「免許返納者」が増えるとなると、新たな公共交通について講じていくことが必要と考えられる。
- ・周辺市町村では、既にコミュニティバスが運行されているが、町財政なども考え検討する必要があり、運行に伴う財政負担の影響などを周辺市町村の事例も活用し把握していく必要がある。
- ・自家用車の依存が高いことは、新たな公共交通の導入後も「利用しない」ということにならないか。について「本結果は今の路線バスの状況下」が前提であることの説明を加え他市町村の運行状況の現状も把握していく必要がある。
- ・都市機能が「伊覇」や「東風平」に集中し、また「八重瀬町役場を経由するバスがない」などを考慮しつつ、コミュニティバスに限定せず、あらゆる方法も検討する必要がある。
- ・本事業および今後の事業の計画（R3年度やR4年度）の予定について説明し、引き続き検討していく必要がある。

※本事業は、「基礎調査」で、運行計画など（例：ルートなど）は来年度であることを説明